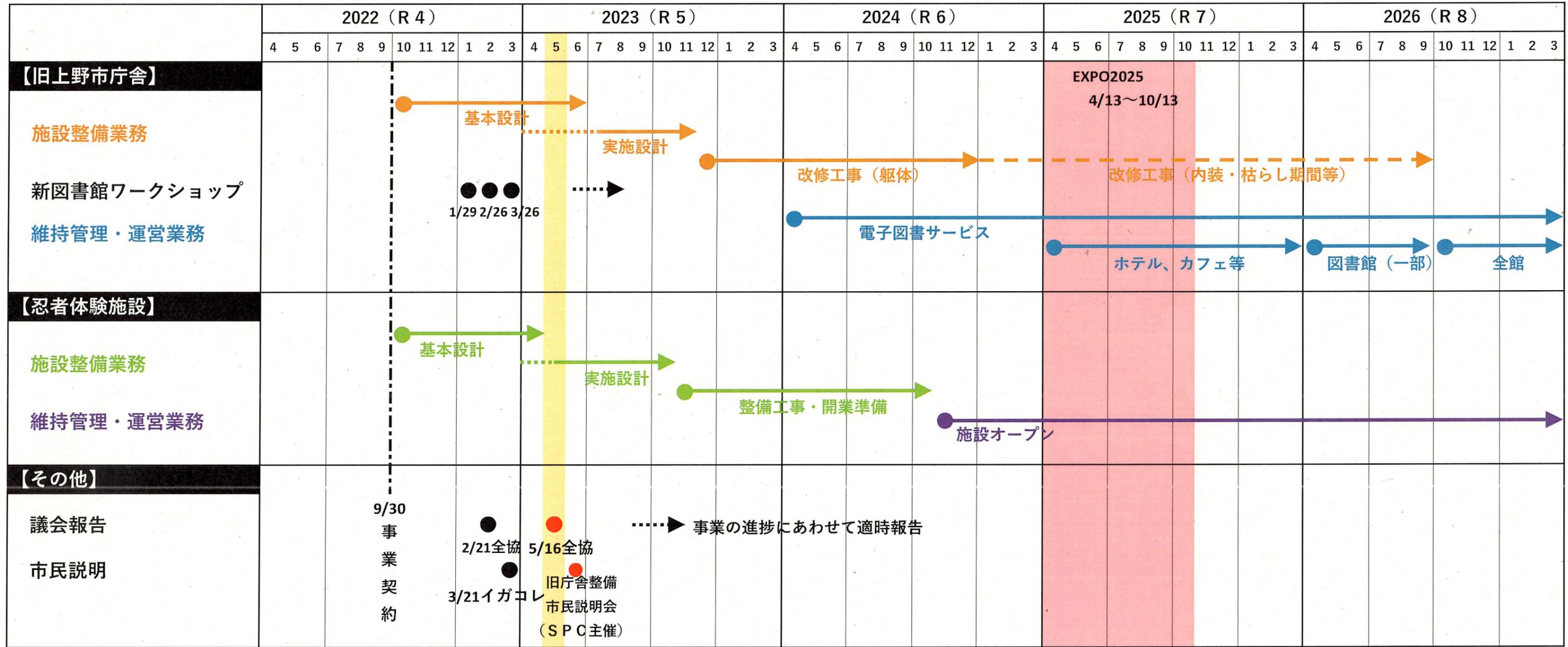
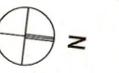
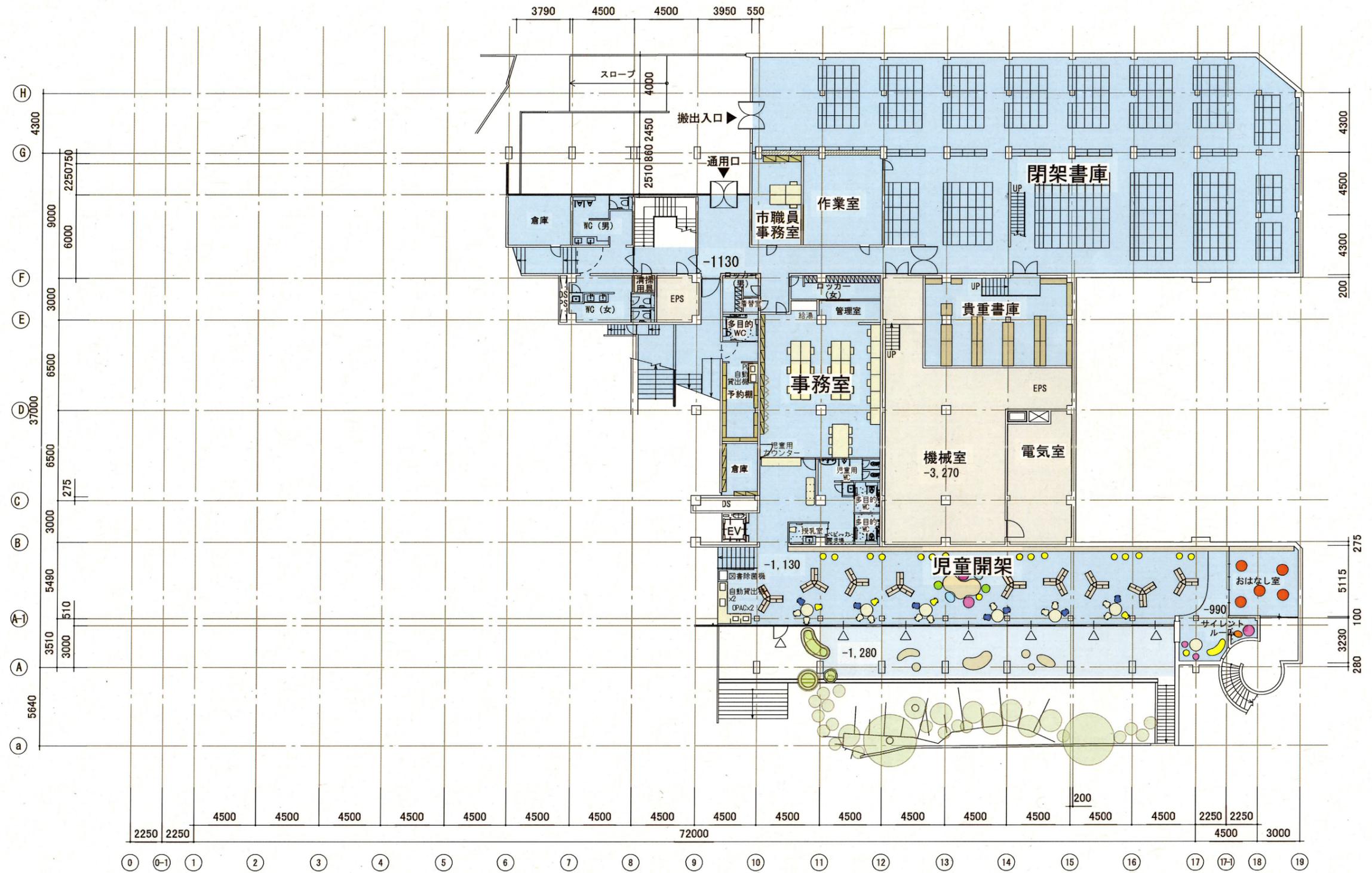


■にぎわい忍者回廊整備事業スケジュール



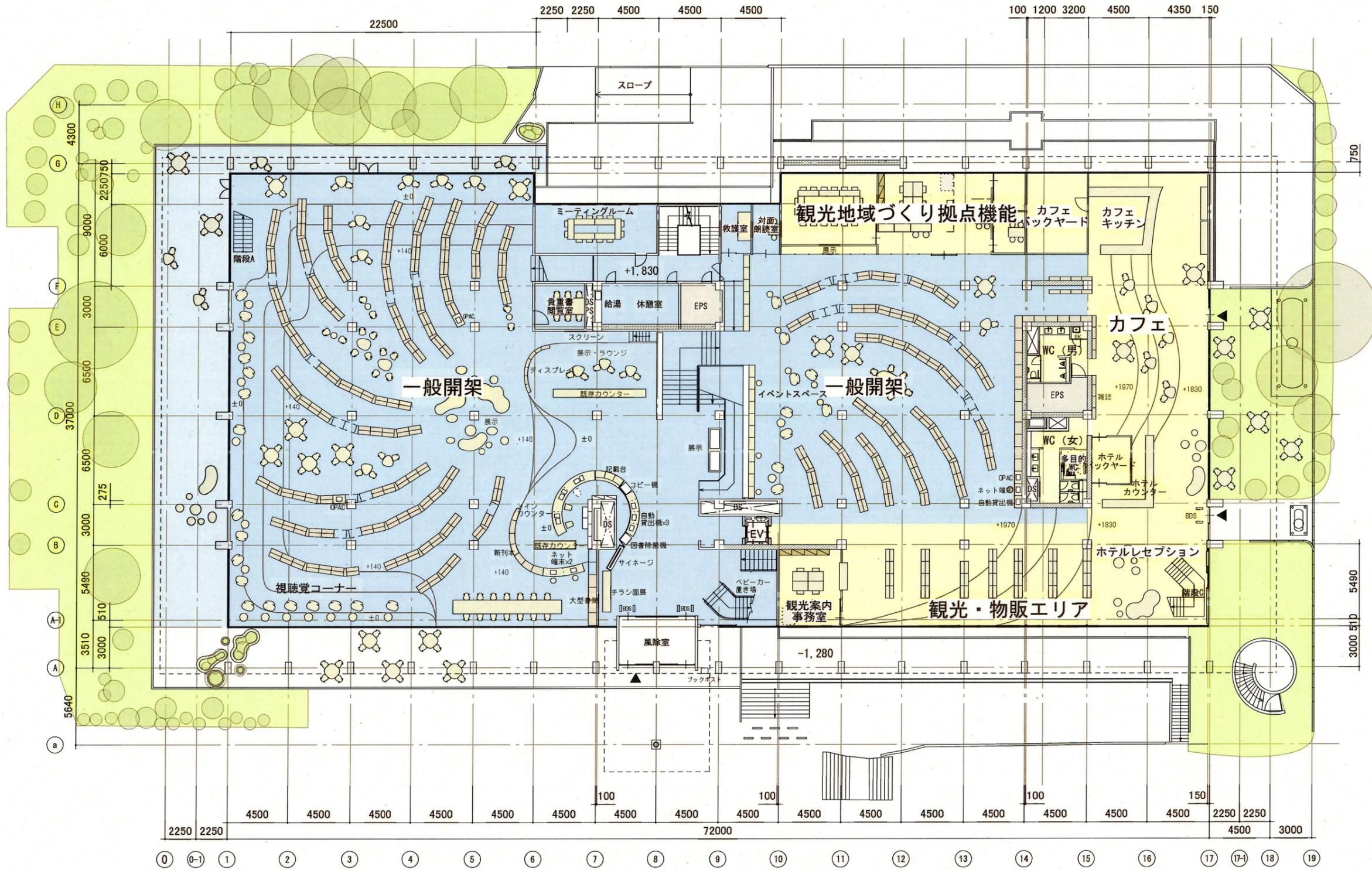
※本スケジュールは現段階のものであり、今後の協議の中で変動する可能性があります。

B1F 平面図 Scale 1:300



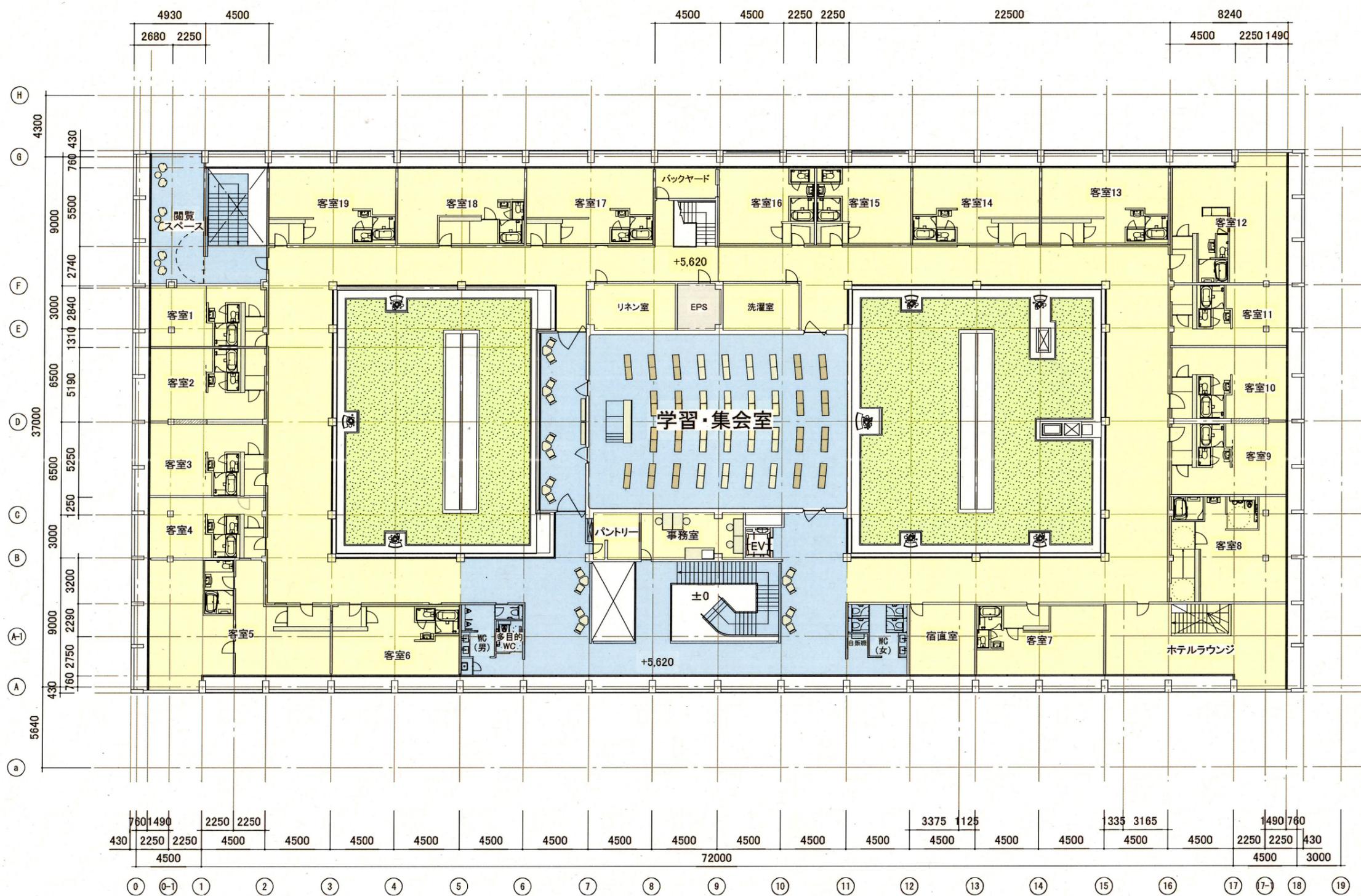
1F 平面図

Scale 1:300



2F 平面図

Scale 1:300



図書館ワークショップに関する報告について

○第1回実施報告

(開催内容)

開催日時：令和5年1月29日（日）午後2時30分から午後4時

テーマ：『旧上野市庁舎』ってどんな建物？ ～建築家 坂倉準三の功績とともに～

(参加者)

申込者数：49名（※1回から3回を含む総申込者数：68名）

参加者数：42名（※応募多数により抽選）

当日参加者数：37名

参加者年齢層：10代から80代以上まで

(実施概要)

全体説明を行った後、参加者が旧上野市庁舎を見学して、新たな施設像へのイメージを想像しながら、お気に入りの場所を見つけてもらう時間とした。

ハイトピア伊賀（5階多目的大研修室）において、それぞれが見つけたお気に入りの場所やアイデアを記載した付箋を旧上野市庁舎の図面に貼付け、参加者に記載内容の発表を行ってもらった。

<参加者からの意見・アイデア>

【1階】

空間設計や家具・什器に対するアイデアや、伊賀の特長を活用したサービス展開の例など具体的な意見が多く出された。また、カフェや読書環境の充実、市民の居場所づくりを求める声も見受けられた。

【中2階】

「静かに読書がしたい」という静寂性を求める意見もあれば「友だちとおしゃべりがしたい」というにぎわいを求める意見もあり、空間が参加者の多様で多彩なイメージを掻き立てるポテンシャルを持ち合わせていることが窺えた。

【2階】

読書、映画、音楽、演劇など、芸術文化に関するアイデアや提案が多く見受けられた。また、バー（bar）の設置や結婚式会場としての利用など、従来の公共施設の枠組みを超えるユニークで斬新なアイデアも出された。

○第2回実施報告

(開催内容)

開催日時：令和5年2月26日（日）午後2時30分から午後4時

テーマ：日本初『宿泊できる公共図書館』の概要と民間での先行事例

(参加者)

申込者数：55名（※1回から3回を含む総申込者数：68名）

参加者数：42名（※応募多数により抽選）

当日参加者数：38名

参加者年齢層：10代から80代以上まで

(実施概要)

【事例紹介と図書館計画案の説明】

本施設が「すべての市民が集い、訪れる人すべてに対してのこの街の顔」となるために提案の前提となる考え方を共有し、国内外における図書館の先進事例を紹介。その後、現在検討中の本施設のB1～2F平面図をもとに各階の概要（想定）について説明。

【講演「本と過ごす箱根本箱の5年間とこれから」】

本とホテルが融合した「箱根本箱」の事例をもとに、本との過ごし方、出会い方、良い時間と場所をつくることをテーマに、株式会社ひらく代表取締役染谷拓郎氏による講演。また本施設についても、施設の内外で「どのようなことができるか」その可能性について考え方を紹介。

【グループディスカッション】

「図書館×ホテル」「図書館×〇〇（各自自由に設定可）」をテーマに「新しい図書館で何が出来るか」「こんなことができたなら面白い」についてグループディスカッションを実施した。

<ディスカッションによる意見>

【地域の魅力発信】

- ①伊賀の忍者や陶芸などを絡めていったらいいのでは。
- ②伊賀の魅力の発信については、伊賀市の財産を紹介するスペースを広くとって欲しい。文化芸術産業で活躍する有名な人を紹介できれば。

【快適な空間として】

- ①空間、音楽、学び、体験などの「癒し」
- ②長い時間を図書館で過ごしたい。その時間の中で、食べたり飲んだりできる接点がカフェ以外の場所にも必要なのではないか。
- ③普段自分が好きなアクティビティができる場所であってほしいという意見。本と好きなアクティビティがつながっている接点があると嬉しいという意見があった。

【コミュニティの中心として】

- ①分からないことでも地域の人に色々教えてもらって、新しいアイデアとして自分の夢を拡げていくのもいいのでは。
- ②VRで仕事体験ができたり、働く人のインタビューを見て、興味を持ったり本で調べる場所があると新しいのではないか。

○第3回実施報告

(開催内容)

開催日時：令和5年3月26日(日)午後2時から午後4時

テーマ：～学び・創造・憩いの広場、交流型図書館として～

(参加者)

申込者数：55名(※1回から3回を含む総申込者数：68名)

参加者数：42名(※応募多数により抽選)

当日参加者数：32名

参加者年齢層：10代から80代以上まで

(実施概要)

【事業の現在地点について説明と前2回の振り返り】

「伊賀市にぎわい忍者回廊整備(忍者体験施設等整備)に関するPFI事業」を実施する目的や事業の流れを説明。また検討中の施設の概要説明として、市から求められている機能や水準、それに伴う配置案の理由などについて説明を行った。

【グループディスカッション】

「この施設の計画について楽しみなこと、心配なこと」をテーマにグループディスカッションを実施した。

<ディスカッションによる主な意見>

【楽しみなこと】

- ①新しい図書館ができるワクワク感
- ②カフェテリアや緑の空間ができるのが楽しみ
- ③新しい取り組みによる知名度アップ
- ④スキップフロアによる多彩な空間表現が建築的に楽しみ

【心配なこと】

- ①市民への説明が足りない
- ②ホテル利用者とのトラブル
- ③エレベーターが一基しかない
- ④学習室の議場が暗い
- ⑤救護室がない
- ⑥駐車場は無料になるのか